

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう}放送原稿（7月27日（金）放送分）

テーマ 新着図書紹介

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。^{か ごしまけんりつあま}鹿児島県立奄
^{み としよかん}美図書館です。

今朝は，^{あまみとしよかん}奄美図書館の新着図書についてご案内します。

まずは，一般書のご案内です。

長崎県出身のシンガーソングライターでもある，さだまさしさんの『かすていら』です。
昭和30年代の長崎。カステラの香りに包まれた記憶の中には，明るくて，ちょっと迷
惑で，それでも皆から愛された^{は てんこう}破天荒な父と，振り回された家族の姿があった…。

『^{げ げ}解夏』『^{び ざん}眉山』など、数々の名作を綴る作家・さだまさしが父に捧ぐ，「もうひとつ
の“^{しょうりようなが}精霊流し”」。フォークデュオ・グループとして，ソロとしても『^{こすもす}関白宣言』『^{つむ}秋桜』
『^{おや じ}親父の一番長い日』『^{しん こつちよう}北の国から』など，温かな涙の果てに，涙あふれる^{どくだんじよう}独壇場世界を紡
いできた著者の，^{しん こつちよう}真骨頂とも言える，初の自伝的実名小説です。

次は，^{ひがし の けい こ}東野圭吾さんの『^{き せき}ナミヤ雑貨店の奇蹟』です。近年の東野圭吾さんの作品とい
えば，事件捜査物やサスペンス物がほとんどですが，それらとは違い，SFファンタジー
のような作品となっています。

悩み相談の手紙をシャッターのポストに投函すると，牛乳箱に返事の手紙が入っている
という不思議な雑貨店。様々な悩みが時空を超えて取り交わされた時，そこに信じられな
い繋がりが浮かび上がってくる…。すべての人に捧げる，心ふるわす物語となっています。

次は，児童書のご案内です。

^{た しませいぞう}田島征三さんの絵本で『ガオ』です。まず表紙を見て分かるのですが，全ての絵を実際
の木の実で表現しているところが，タイトル同様，迫力が増して見応えのある絵本となっ
ています。主人公は元気な山犬。ある日，ガオ！と大声で吠えたら体中の元気が外に飛び
出してしまいました。飛び出した元気は恐ろしい鳥になり，残った体は6匹の蛇になって
しまいます。そして鳥は蛇を次々に食べてしまい…。元気な山犬は無事もとに戻れるので
しょうか。

次に紹介するのは，みなさんよくご存じの^{にい み なんきち}新美南吉作の『ごんぎつね』です。本作品は
今から80年程前に書かれたものですが，今回新美南吉^{せいたん}生誕100年を記念して発行され，

万葉集をテーマとした創作で知られる日本画家の鈴木靖将^{すず き やすまさ}さんが絵を手掛けています。丁寧な自然描写と愛嬌^{あいきよう}のある表情が特徴的で、色合いも鮮やかです。

衝撃的な結末をもつこの作品は、新美南吉が18歳のときに書かれました。南吉は4歳のときに母親を亡くし、幼児にして“孤独”という負の生活感情を身にまといます。『ごんぎつね』の主人公には、少年南吉の思いが、色こく投影されているのです。

最後に郷土に関する本のご案内です。

北島公一^{きたじまこういち}さん編集、喜界島郷土研究会監修で喜界町文化協会から発行された『喜界島全^{き かいしまぜん}集落八月踊り唄歌詞集』です。すでに、踊りについては「形」としてDVDに収録されていましたが、今回「唄^{うた}」「歌詞^{かし}」が揃い、島の伝統文化を立体的に学ぶことができるようになりました。喜界島の八月踊りは、踊り、唄、歌詞が集落ごとに違い、集落独自の文化を象徴しています。歌詞集は全33集落のうち29集落の歌詞を収載^{しゅうさい}しています。方言、標準語訳、解説の3部で構成され、初めて喜界島の八月踊りに接した人でも理解できるようになっています。

これからますます暑さが厳しくなりますが、読書でリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。皆様のご利用をお待ちしております。

かごしまけんりつあまみとしよかん
鹿児島県立奄美図書館でした。